

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 4 月 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 予算科目, 法令根拠, and 事業期間.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

市立小中学校が行う校外授業等の学校行事が安価で円滑に実施するために、市保有のバスを教育委員会専用と位置づけしその運行管理及び維持管理を行う事業である。

(1) 事務事業の目的

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標, and 単位.

(2) 指標値の推移

Table with columns for 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標), and 期間限定総投入量.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for 投入量, 事業費, 人件費, トータルコスト(A)+(B), 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, and 期間限定総投入量.

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

平成19年度より、財政課管理のバスが教育委員会バスとして位置付けられ、主に学校行事等での使用することとなった。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし

事務事業名	教育委員会専用バス管理委託事業	事務事業No.	31229062	所属課	学校教育課
-------	-----------------	---------	----------	-----	-------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	<p>① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)</p> <p>合併前の各町村で保有していたバスのなかで、未排ガス対策の旧大和村所有のバスを、学校等で使用する場合は県内が多いことから教育委員会専用バスとして位置づけたため政策体系は関係ない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 結びついている</p>
	<p>② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)</p> <p>合併前の町村で保有していたバスの有効活用なので、維持管理費が膨大にならない限り存続する。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である</p>
	<p>③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?)</p> <p>教育委員会専用である。</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p>
有効性	<p>④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)</p> <p>学校行事の開催時期は同季節が多く、日程が重なり利用できない学校が発生する場合もある。学校間でバス利用調整することで、より多くの行事に活用できる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない</p>
	<p>⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)</p> <p>学校行事での教育用バス利用は負担金が無く、バス利用学校行事を幅広く行える環境である。他のバスで同様の行事を行うためには、費用負担が発生するため、バス利用行事数が制限される。</p> <p><input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有</p>
	<p>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む))</p> <p>他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> ⇒ 具体的な手段、事務事業名 市バス維持管理事業 他に手段がない <input type="checkbox"/> 元々、財政課管理のバスであり、管理を元に戻すことは何も問題ではない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>
効率性	<p>⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など))</p> <p>バスの管理体制を一元化すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない</p>
	<p>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?)</p> <p>バスの管理体制を一元化すること。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない</p>
公平性	<p>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)</p> <p>教育委員会専用バスとの位置づけがされている。</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<p>① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>バスを教育委員会専用とした場合、主とした使用制限により目的は適切ではあるが、有効性や効率性は一元管理の場合より劣るものである。</p>																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>X</td> <td>X</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			X	低下		X	X
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			X																		
	低下		X	X																		
(3)-1 改革改善策																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
<p>課長確認後の評価</p> <p>B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>	<p>確認欄</p> <p>未</p>
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項